

# 「人生100年・まちづくりの会」通信



「那須まちづくり広場」は、那須町・旧朝日小学校の廃校を活用した少子高齢社会の新しいコミュニティの拠点です。誰もが自分らしく最期まで生きがいを持って、安心して暮らせるまちづくりのモデルを目指して、活動しています。

生涯活躍のまちに住む、地域包括ケアを利用しながら、歩いて暮らせるまち「那須まちづくり広場」には、4タイプの住宅ができます。

- ①ひろばの家・那須1（自立の方向けサービス付き高齢者向け住宅）  
2023年1月開設予定。
- ②ひろばの家・那須2（介護が必要な方向けサービス付き高齢者向け住宅）  
屋内プールを改修し、2022年1月入居を開始しました。
- ③ひろばの家・那須3（多世代共生のセーフティネット住宅）  
校舎東側2階を改修し、2022年6月入居を開始しました。
- ④みとりえ（ナースが運営する医療対応型住宅）  
那須まちづくり広場の隣地に建築、2023年1月開設予定。

**Vol.9**  
2022年  
夏

QRコード  
那須まちづくり広場  
詳しいパンフレットはこちら

△ 生き物観察会の様子

5月 21 日

## 「ひろばの家・那須1」着工へ！

5月21日那須まちづくり広場・校庭にて  
自立の方向け高齢者住宅「ひろばの家・那須1」の地鎮祭がとり行われました。

施工・設計に関わる方々、入居を検討されている方が列席され、工事中の安全、そして住む人の繁栄を祈り、地鎮祭は滞りなく終えることができました。

その後、施工会社の（株）DIサンワコーポレーションが、ドローンを飛ばし、建設予定の校庭を上空から撮影しました。建設予定の場所で、ご自身の家の位置を確認していた入居予定の方々は、上空のドローンにびっくり！思わず、声を上げ、手を振りました。

5月末日で全改修が完了した旧朝日小学校の校舎も上空から撮影しました。6月からセーフティネット住宅の方々が生活をスタートしています。

2023年1月開設に向けて、「ひろばの家・那須1」の建設が、6月にスタートしました。開設が待たれます。

## 周辺情報

冒険遊び場をつくろう！

那須まちづくり広場  
グランドデザインを考える会  
新井 隆夫さん

東側には大きな土砂の山が出現、もしかするとこの山も子どもたちの冒険遊び場にできるかもしれません。子どもたち、そして大人たちも遊べる「冒険遊び場」づくりを目指します。

一緒に活動してくださる方、大歓迎です。

**那須に冒険遊び場をつくろう**  
天野 秀昭さん

NO.16

5月20日・21日に、那須まちづくり広場で行われた天野秀昭さん講演「那須町に『冒険遊び場』を作ろう！」をユーチューブで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



グランドデザインを考える会は「那須まちづくり広場」のボランティアグループの一つ。畑やたい肥づくりなど植栽・防災・環境共生をする活動をしながら、「広場」の未来の姿をデザインし、実践しています。

四季折々の変化に富む裏山をメインフィールドとして、生きものマンションを作り、子どもたちとの自然観察会も実践しています。裏山は、これから安全に遊べるよう下草刈や枯れ枝の片付けなど続けたいと思っています。

5月に行われた、天野秀昭さんの講演を聞き、那須まちづくり広場の裏山を、「冒険遊び場」にしていこうと思いました。

校庭では「ひろばの家・那須1」の建設工事も本格スタートし、校庭の裏山を、「冒険遊び場」にしていこうと思いました。

2019年2月  
28日オープンして、  
3年になります。

コンビニがない地域だったので、近隣の方に喜ばれました。お客様は、日々課のように来ていただいている近隣の方々と国道を通るトラック運送の方が、ほとんどですが、観光に来られる方も、那須どうぶつ王国の割引チケットが購入できたりするので寄つて行かれます。

**セブンイレブン  
那須高原スマートインターフォン  
入口店**  
オーナー 薄羽 裕之さん

「那須まちづくり広場」西側入口に、集配用ポストを設置しました。  
那須まちづくり広場はそれなりの集配数見込まれますので、郵便ポストの新設をお願いしましたが、難しいとのことでした。そこで集配用郵便ポストです。

一日1～2回ですが、配達に来た時に郵便物を持って行ってくれます。

ご利用ください。



### 集配用郵便ポスト

当店は、高速道路のスマートインターを出すぐなので、カー用品を他の店より多く揃えていますし、ペット用品の方が、ペットとお暮らしのほどんどの方が、ペットとお暮らしのほどんどとも住民票などが取れます。ぜひ、お弁当をまとめて散歩コースに入れていただきたいですね。

注文いただいたいたくこともあります。那須まちづくり広場からは歩いて10分ほどです。ATMがあり、町役場に行かずとも住民票などが取れます。ぜひ、お弁当をまとめて散歩コースに入れていただきたいですね。

### 今後の予定

ご参加をお待ちしております

**那須** 会場：那須まちづくり広場

7月 16日(土)	13:00～15:00	第30回「人生100年・まちづくりの会」
8月 20日(土)	13:00～15:00	第31回「人生100年・まちづくりの会」
9月 17日(土)	13:00～15:00	第32回「人生100年・まちづくりの会」
10月 15日(土)	13:00～15:00	第33回「人生100年・まちづくりの会」

● 那須は毎月第3土曜日に開催予定です。

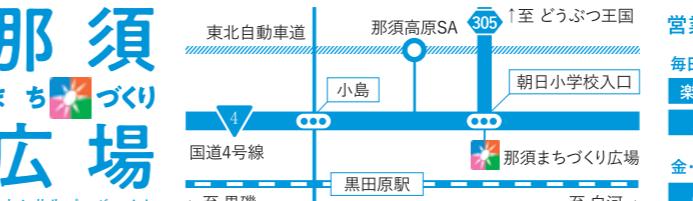
**東京**

会場：コミュニティネットワーク協会共生サロン南池袋

7月 24日(日)	13:00～15:00	第13回「人生100年・まちづくりの会」
8月 28日(日)	13:00～15:00	第14回「人生100年・まちづくりの会」
9月 25日(日)	13:00～15:00	第15回「人生100年・まちづくりの会」
10月 23日(日)	13:00～15:00	第16回「人生100年・まちづくりの会」

● 東京は毎月第4日曜日に開催予定です。

**那須**  
まちづくり  
広場  
自立と共生プロジェクト



営業時間 / 9:00～17:00

毎日営業	楽校deマルシェ	10:00～16:00
	カフェ「ここ」	9:00～17:00
金・土・日営業		
	めぐりあしま	10:00～17:00

お問い合わせ  那須まちづくり株式会社  
〒329-3225 栃木県那須原内1340  
TEL.0287-74-3434  
FAX.0287-74-3447  
mail:info@nasuhiroba.com  
[nasuhiroba.com](http://nasuhiroba.com)



## ログハウス体験記

「福島いこいの村なみえ」に宿泊、  
ログハウスを体感！

岡田 陽子さん

「ひろばの家・那須1」のログハウスを希望されている岡田さんご夫婦が、ログハウスを見学、宿泊されました。

私は、冷蔵庫は、2500L程度の大きいものを置こうと考えていましたが、なみえの居室にあつた85Lでも十分と思いました。「ひろばの家・那須1」では、マルシェが、歩いて行けるところにあるので、小さめに買い換える良いと思いました。

また、思ったより、ログハウスの木材は白木に近くて、きれいでした。ログハウスの壁も19センチと木の幅が大きくて、部屋を広く感じさせます。部屋の中で柱以外に厚みのある材木が見えるのが好きです。壁の好きなところに棚をつけたり、お気に入りのフックをつけることもできるし、「ひろばの家・那須1」では、自分で工夫ができます。那須の



地鎮祭完了後、参列者一同で記念撮影をしました。

16年前（2006年）に母が亡くなり、一人暮らしの父も90歳近くになつたため、13年前（2009年）に那須の両親の家を建て替えて、夫と猫4匹と私が千葉より移住、その後、2013年に父が93歳、2016年に主人が67歳で亡くなり、4匹の猫も次々高齢で亡くなりました。

現在の住まいは温度差がないつくりで、とても住み心地が良く、大好きですが、空調のフィルター掃除やウッドデッキや窓枠の塗り替えなど、家のメンテナンスがなかなか大変です。千葉の子どもたちの近くに賃貸住宅を借りるという選択肢もありましたが、一般の賃貸住宅は年齢制限があつたり、ペット不可だったり、何より窓を開けたら家しか見えない環境には戻りたくない。趣味の仲間たちも多くいるので、やっぱり那須から離れられませんね。昨年あたりから、もともと弱かった膝や腰の不調が続き、庭仕事もままならなくなつてしまつて、いよいよ住み替えが現実問題になつてきたところに、「ひろばの家・那須1」のことを知り、決断しました。

今一緒に暮らしているのは、マヤ、茶々丸、ゴマの猫三匹でこの子たちと一緒に入居できるのが、最大のポイントです。もう一つ大切なのが、楽器の練習ができるかどうか。当初、自室では音出しはできないと言われ逡巡していましたが、オプションで内窓をつければよいということに。ペットと入居できることと楽器練習の二つの問題は解決しました。

那須町から、猫三四と  
五十嵐 由利子さん

五十嵐 由利子さん

那須町から、猫三四と  
五十嵐 由利子さん

五十嵐 由利子さん

また那須では運転ができないと移動が不便ですが、送迎の仕組みもあるとのこと、更に年を重ねたときにサ高住「ひろばの家・那須1」なら安心ですね。



沖縄から「ひろばの家・那須1」へ  
友寄 一枝さん

友寄 一枝さん

沖縄の出身ですが、東京で就職し、長く東京で生活をしていました。退職後、母の介護もあり、沖縄へ戻りました。7年前に母を見送り、さて、自分のこれからをと想えていたところ、「ゆいまーる那須」を企画・運営された方々が「ひろばの家・那須1」を始められるとのことを知りました。

「那須100年コミュニティ構想」のまちづくりから10年たち、廃校を利用して新しい暮らしの拠点をつくるという計画でした。これは「ゆいまーる那須」を発展させたものだと魅力を感じ、「ひろばの家・那須1」の検討を始めました。昨年、現地見学会に参加、初めて那須に行きました。温かい沖縄からなぜか思われるかもしれません、気候は関係ありません。「那須まちづくり広場」には、マルシェやカフェなど生活の利便性はもとより、介護重視型のサ高住や24時間対応可能な介護支援の定期巡回があり、「みとりえ」も近くにできるとのこと。何より、最期まで安心して暮らせる環境があることが、独り者の私には大事なことです。

健康に気をつけて、元気で那須へ行きたいと思っています。

## 那須町のデマンド交通

那須町が提供しているデマンド交通は、公共交通設施、買い物、病院等が中心です。デマンド交通は、利用者から予約を受付、予約のあつた「自宅側停留所」と「目的地側停留所」を結び、運行する乗合型公共交通です。「那須まちづくり広場」の「自宅側停留所」は、520番。「目的地側停留所」は黒田原地区と広谷地地区に設置されています。利用には、利用登録が必要です。申し込みは、那須町役場ふるさと定住課公共交通係。



ゆいまーる自然葬墓～墓友募集中です！～

「跡継ぎがないから、無縁仏になつてしまつ」「子どもや親族に迷惑をかけたくない」という声にこたえて、（一社）コミュニティネットワーク協会では、合葬墓を用意しています。那須の合葬墓は那須自然村千風の丘「自然葬芝桜田園地」の中。宗旨・宗派は一切問いません。先祖代々のご供養も可能、ペットも一緒に埋葬できます。手続きをして、埋葬された後は、永代供養をいたします。東京、関西にもあります。

# 歩いて暮らせるまちづくり、生活と文化、働く場所

# 地域包括ケアの拠点を目指して



「みとりえ」を立ち上げるために、「ひろばの家・那須3」に住みます。  
佐久間 洋子さん

天井が高くて南側全面窓で、気持ちのよい開放感を感じ、面白い収納も発見。暮らしのイメージがつきました。

実はワタクシ東京生まれの東京育ちですが、両親は福島県の農家の出。夏休みは子どもの手も借りたいようで、いつも帰省にはくつついて行っています。というわけで、「田舎育ちの東京人」と名乗らせていただきますが、これからは「ひろばの家・那須3」に住んで、「みとりえ」をたちあげていきますので、那須人となります。

毎月「暮らしの保健室・那須」を開催中。気がかりは「みとりえ」がこの地域にどう溶け込んでいくのかです。入居される方が、すーと息を吸い込んで、笑みがこぼれる居場所にしたいと願っています。

## みとりえ那須

リハビリデザイൻ研究所  
山田 譲、斎藤 洋子さん

「みとりえ那須」は、最期まで自分らしい暮らしを望む方のもう「一つのご自宅」です。退院後も医療行為の必要な方、在宅介護が困難になった方や、穏やかな終末を迎える方のための居場所です。介護保険外の新しいカタチのナースと暮らす（あなたの）居場所です。運営はヒノキ浴槽メーカーの株式会社檜創建。プロデュースはリハビリデザイン研究所と「ナースさくまの家」の佐久間洋子。必要な時、いつでも緊急時に利用できます。「もう一つのあなたの居場所」を目指します。介護保険の規制に縛られない自由な暮らしができます。あなたの生活の選択肢

## 「那須やさい工房ことこと」を始めます！

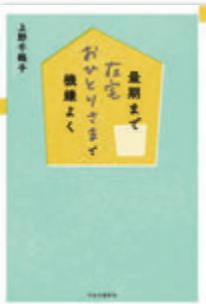
畠山 奈々子さん

那須まちづくり広場のマルシェに、野菜と果物を販売している委託農家が、提案し、「那須やさい工房ことこと」を開設します。自らが丹精込めてつくった野菜や果物を加工して販売したいと考えました。初めては、旬の野菜が「もつたない！」から、そのままの野菜が「もつたない！」たちにとつては、前からやりたかったことでした。那須の特産・夏イチゴのドライフルーツから、こんにゃく、梅干し、らっきょう、甘酒など、「私」が作りたいもの、つくってほしいものを販売します。9月開設を目指しています。時間で使用する時間貸しも予定しています。加工品づくりに興味のある方、相談ください。

## 地域の食卓をめざします！

コミュニティカフェ「ここ」 管理栄養士 篠崎 美砂子さん

昨年10月からコミュニティカフェ「ここ」で、高齢者の方々への食事を担当しています。地域と高齢者向けの食事づくりを始めて42年。食は生命の基本だと思うことを何度も経験しました。それが支えになつて、美味しいことはもちろん、嬉しい・楽しい食事になつてほしいと毎日奮闘しています。今年1月から「ひろばの家・那須2」への3食の食事、6月からは「あい・ディサービス那須」の昼食を。そして、那須町の配食サービスと地域へ広がっています。お食へになる方々からの美味しい！という言葉に励まされる日々です。お味の感想や



本年1月オープンしてから、半年、橋本ハウス長を訪ねました。  
「現在17名の方が入居され、賑やかになつてきました。お隣のカフェ「ここ」で調理される手作りの家庭料理はお住まいの皆さんから、美味しい！とうれしい言葉をいただいています。毎日の食事が皆さんの元気と健康を支えているんですよね」

もう一つ大切なのが、介護と医療との連携です。在宅療養支援診療所「あし」のメディカルクリニック「塙原医師」の訪問診療が月2回。



訪問看護ステーションりんりんの黒田看護師等は月1回と必要に応じ来られます。塙原医師は「りんりんさんと一緒に脚でかかわつています」と、黒田看護師は「自分の家、自分の家族のように感じて関わり、最期までを視野にいれて看護をしています」とのこと。

橋本ハウス長から「今まで別々の施設に入所していたご夫婦が一緒に暮らしたいとのご希望で、7月に入居されたのがとてもうれしい」と。まさしく、施設ではないサービス付き高齢者住宅という自宅の良さですね。そして、その夫婦の娘さんご夫婦は「ひろばの家・那須1」に住む予定です。「ステップの冷めない距離」に介護の安心があつてこそ暮らし方です。隣には、カフェやマルシェ、ホールなどがあり、11枚つづ

食べたいたい物のリクエストもお聞きし、メニューに活かしています。  
そして、「ひろばの家・那須2」では地元の農家の方々の協力を得て、3食で月3万円を実現しました。ある日のメニューを紹介します。「朝食…ごはん味噌汁、卵豆腐、カボチャいとこ煮、昼食…野菜たっぷり焼きそば、中華スープ、茄子の涼拌、夕食…ごはん味噌汁、季節の揚げたて天ぷら、卵の花炒り煮」。天ぷら、ちらし寿司は人気のメニュー！  
10月には栃木国体のお弁当作りの注文も受けました。先日、学校の合宿でのお弁当130食を届けました。10月には栃木国体のお弁当230食を届けます。これからも、安心で美味しい地域の食卓として広がることを願っています。

地域で必要な場所を、働く場所に！  
**通所デイサービス那須  
あい・デイサービス那須**  
6月「あい・デイサービス那須」が那須まちづくり広場にオープンしました。南に大きく開かれた窓から校庭が広々として気持ちがいい。木のかおりがただようヒノキ風呂。教室と廊下をそのままデイサービスの空間にしているので、リビングも広々！イベントに参加したり、食事や買い物を楽しんだり、出来立てのケーキを食べたり、本を読んだり、アートギャラリーの作品をみたり、ストリートピアノを弾いたり……。働きたい方、お問い合わせください。

また、那須まちづくりの会というボランティア活動も実施中。生涯活躍のまちづくり活動の一つです。ご連絡ください。

## ストリートピアノ

交流ホールA「ひろばのひろば」

りのコーヒーチケットを購入して足しげく通う方、あれかこれかと悩みながらおやつを購入する方、図書の貸し出しを利用される方、街角ピアノに耳を傾ける方……。

舗装された広場までの道は、杖をついても、車いすでも行動しやすいようです。

